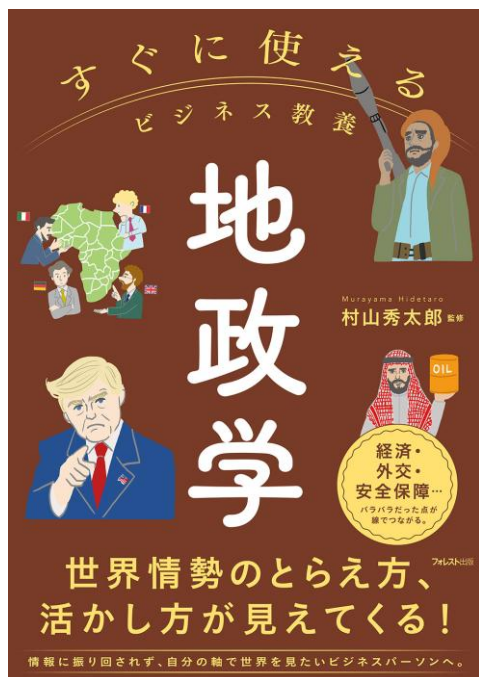


すぐに使えるビジネス教養 地政学



世界情勢のとらえ方、活かし方が見えてくる！

村山秀太郎監修



世界を読むカギは「地政学」にあり

ウクライナ戦争、米中対立、イスラエルとパレスチナの衝突——世界は混迷を深めています。ニュースは断片的に流れてきますが、その背景を一本の線でつなぐ視点こそ「地政学」です。地理的条件を軸に、政治・経済・軍事・外交を立体的に読み解くことで、「なぜ起きているのか」「次に何が起ころのか」が見えてきます。地政学は決して専門家だけの学問ではありません。原油価格、輸入品の値上げ、為替や株式の動きなど、私たちの暮らしやビジネスにも密接に関係しています。国際情勢を理解できれば、経済ニュースの意味を自分の頭で読み解き、未来の変化を先取りできる。混沌の時代を生き抜くための「世界を読む思考法」が身につく一冊です。

地政学の基本から最新情勢まで網羅

本書は、地政学の歴史と基本概念をわかりやすく整理し、「シーパワーとランドパワー」「リムランドとハートランド」「チョークポイント」などの重要キーワードを体系的に学べる構成。さらに、バランス・オブ・パワーの視点や経済要因を組み合わせ、現代的な地政分析へと発展させます。米中対立、ウクライナ戦争、AI・半導体をめぐる覇権競争など、最前線のテーマも網羅。アジア、欧米、中東、アフリカ、日本までを地域別に整理し、複雑な国際関係を一望できる決定版入門書です。

《著者》村山秀太郎（むらやま・ひでたろう）

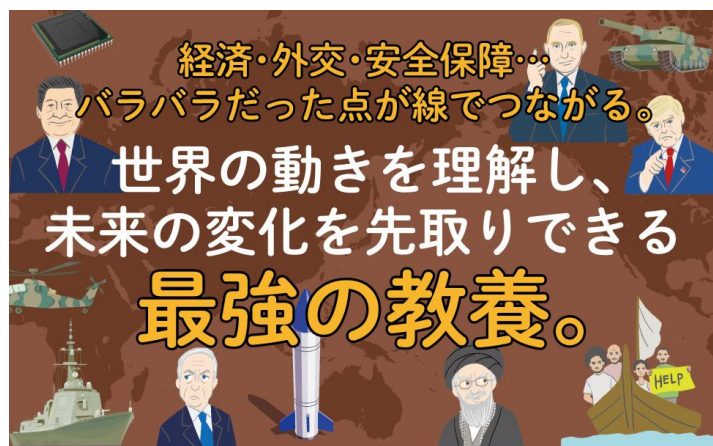
スタディサプリ講師、世界史塾バロンドール主宰。早稲田大学大学院社会科学研究所修士課程修了。予備校で教鞭をとりながら百余国を歴訪し、昨今の国際情勢にも精通している。主な著書・監修に『これ1冊！世界各国史』（アーク出版）、『暴虐と虐殺の世界史』（二見書房）、『地政学で読みとく「これからの世界」』（世界文化社）、『絵本のようにめくる世界遺産の物語』（昭文社）などがある。

《目次》

- INTRODUCTION 地政学の基本
- CHAPTER 1 話題の国際情勢を地政学で考える
- CHAPTER 2 アジア・太平洋の地政学
- CHAPTER 3 南北アメリカの地政学
- CHAPTER 4 ヨーロッパ・ロシアの地政学
- CHAPTER 5 中東・アフリカの地政学
- CHAPTER 6 日本の地政学

《書誌情報》

本体価格-----1700円
 ISBN-----978-4-86680-345-6
 ページ数-----144
 判型-----A5判並製



初版 10000部（2025年10月）